



# ユーザーズ マニュアル

USB対応 Skypeフォン

## UB-SKP

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

バージョン:1.1 PMN-07-02-AH-UB-SKP

### はじめに

ご使用の際は必ず本マニュアルをお読みにになり、正しく安全にご使用ください。

●パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

- ユーザーズ・マニュアル(本紙)       CD-ROM(ソフトウェア)
- UB-SKP(本製品)                               安全に関する説明書
- USBケーブル                                       保証書

※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

●別途ご用意ください。

以下のうちどちらかのコンピュータ

- ・利用可能なUSBポートとCD/DVDドライブがあるWindows XP/2000のコンピュータ
- ・利用可能なUSBポートがあるMac OS X 10.4.3以降のコンピュータ

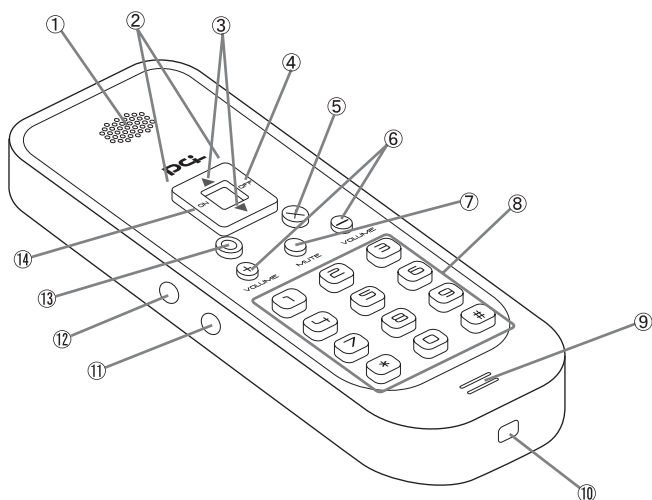
最新の情報は弊社ホームページ [http://www.planex.co.jp] を参照してください。

### 本製品の特長

本製品と付属のソフトウェアをコンピュータへインストールすることで、本製品でSkypeの操作と通話ができるようになります。

※Macintoshは通話のみできます。

### 各部の名称とはたらき



- ①受話スピーカー
- ②LED  
点灯(左側) : オンの状態  
点滅(左側) : 通話中  
点灯(右側) : マイクオフ状態
- ③▲/▼キー
- ④OFFキー  
Skype画面を最小化します。
- ⑤×キー  
通話を切ります。また、Skype画面でキー(テンキー、\*、#)入力中に押すと、入力内容をクリアします。
- ⑥VOLUMEキー(+、-)  
通話音量を調整します。
- ⑦MUTEキー  
マイクがオフになります。もう一度押すとオンになります。
- ⑧テンキー
- ⑨マイク
- ⑩USBポート  
付属のUSBケーブルを挿し込みます。
- ⑪マイク端子  
外部マイクのプラグを挿し込みます。
- ⑫イヤホン端子  
外部イヤホンのプラグを挿し込みます。
- ⑬○キー  
通話を開始します。
- ⑭ONキー  
Skypeの画面を開きます。また、Skype画面のタブを切り替えます。

ご注意!

本製品を使用する前に、SkypeのホームページからSkypeをインストールして、アカウントを取得し、Skypeを使用できる状態にしてください。

### STEP 1 ソフトウェアをインストールする(Windows XP/2000のみ)

付属CD-ROMのソフトウェアのインストール方法を説明します。ソフトウェアをインストールすると、本製品のボタンでSkypeを操作できるようになります。

ご注意!

- ※本ソフトウェアはMacintoshには対応していません。Macintoshのときは、Skypeを通常通りに操作し、本製品を通話に使用します。
- ※作業をはじめる前に使用中のアプリケーション(ワープロソフトウェアやメールソフトウェアなど)はすべて終了してください。
- ※他の周辺機器は取り付けていない状態でのインストールをお勧めします。
- ※他社のUSBハブやUSB延長ケーブルを通した接続については動作保証していません。
- ※Windows XPのときは「コンピュータの管理者」権限をもつユーザ名でログインしてください。
- ※Windows 2000のときは「Administrator(アドミニストレータ)」またはAdministratorsグループのユーザ名でログインしてください。
- ※開発中の画面を使用しているため、画面および手順が変更になることがあります。

#### 1 コンピュータのCD/DVDドライブに付属CD-ROMを挿入します。

※Windows XP SP2をお使いのお客様へ

「アクティブコンテンツは、コンピュータに問題を引き起こしたり…」の画面が表示されることがあります。その場合は、[はい]をクリックしてください。

▼ CDツアーが表示されます。

※表示されないときは、CD-ROM内の「Setup」フォルダを開いて、③へ進んでください。

#### 2 「インストール」をクリックします。



#### 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。



#### 4 「次へ」をクリックします。

▼ 「インストール先の選択」が表示されます。



#### 5 「次へ」をクリックします。

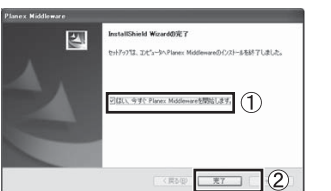
▼ 「インストール準備の完了」が表示されます。

#### 6 「インストール」をクリックします。

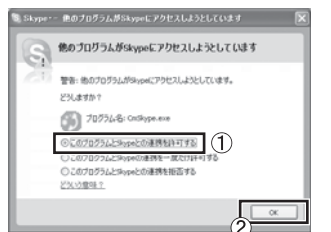
▼ インストールが開始し、「InstallShieldウィザードの完了」が表示されます。

#### 7 「はい、今すぐPlanex Middlewareを開始します。」のチェックをオンにし、「完了」をクリックします。

▼ 「他のプログラムがSkypeにアクセスしようとしています」が表示されます。



#### 8 「このプログラムとSkypeとの連携を許可する」を選び、「OK」をクリックします。



#### 9 デスクトップのシステムトレイに本製品のアイコンが表示されることを確認します。

ソフトウェアのインストールが完了しました。



## 本製品を取り付ける

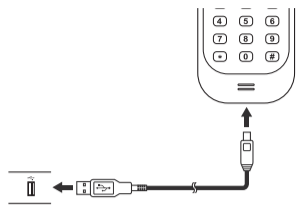
本製品の準備をします。

### Windows XP/2000のとき

付属のUSBケーブルを、本製品とコンピュータ本体にあるUSBポートに接続します。

❗ 本製品はUSBハブには対応していません。外付けモニターや外付けキーボードにあるUSBポートについても動作保証していません。

▼ OSが自動的に本製品を認識し、本製品のLEDが赤色に点灯を始めます。

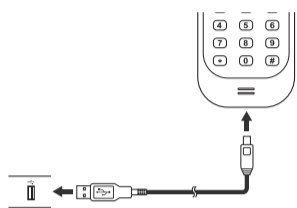


### Macintoshのとき

付属のUSBケーブルを、本製品とコンピュータ本体にあるUSBポートに接続します。

❗ 本製品はUSBハブには対応していません。外付けモニターや外付けキーボードにあるUSBポートについても動作保証していません。

▼ OSが自動的に本製品を認識し、本製品のLEDが赤色に点灯を始めます。



## 音声設定をする

本製品でSkypeの通話ができるように、音声入出力に関する設定をします。

**ご注意!**  
Skypeのバージョンにより、操作手順が異なることがあります。本ユーザーズ・マニュアルでは最新版(2007年2月現在)をもとに説明しています。

### Windows XPのとき

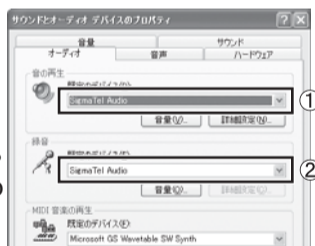
#### ●OSのサウンド設定

- ① 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックします。
  - ② 「サウンド、音声、およびオーディオ デバイス」をクリックし、「サウンドとオーディオ デバイス」をクリックします。  
(コントロールパネルをクラシック表示に設定しているときは、「サウンドとオーディオ デバイス」をダブルクリックします。)
- ▼ 「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」が表示されます。

- ③ 「オーディオ」タブを開き、以下の設定をします。

- ・「音の再生」の「既定のデバイス」で、「C-Media USB Audio Device」以外のサウンドデバイスを選びます。
- ・「録音」の「既定のデバイス」で、「C-Media USB Audio Device」以外のサウンドデバイスを選びます。

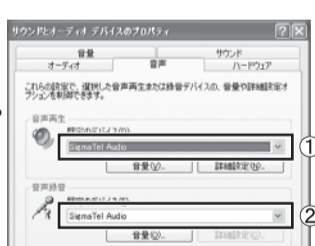
※画像は例です。実際の名称はコンピュータによって異なります。



- ④ 「音声」タブを開き、以下の設定をします。

- ・「音声再生」の「既定のデバイス」で、「C-Media USB Audio Device」以外のサウンドデバイスを選びます。
- ・「音声録音」の「既定のデバイス」で、「C-Media USB Audio Device」以外のサウンドデバイスを選びます。

※画像は例です。実際の名称はコンピュータによって異なります。



- ⑤ [OK] をクリックし、表示されている画面をすべて閉じます。

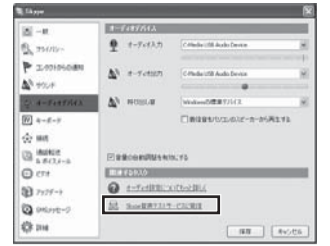
#### ●Skypeのオーディオ設定

- ① Skypeを起動し、ログインします。
- ② 「ツール」メニューから「設定」をクリックします。
- ③ 左側のメニューから「オーディオデバイス」をクリックし、以下の設定をします。
  - ・「オーディオ入力」で、「C-Media USB Audio Device」を選びます。
  - ・「オーディオ出力」で、「C-Media USB Audio Device」を選びます。
  - ・「呼び出し音」で、「Windows標準デバイス」を選びます。



#### ワンポイント

「Skype音声テストサービスに発信」をクリックすると、音声テストができます。



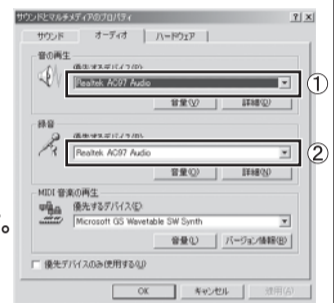
- ④ [保存] をクリックします。  
以上で本製品の設定は終わりです。STEP 4へ進んでください。

### Windows 2000のとき

#### ●OSのサウンド設定

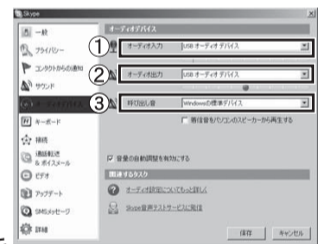
- ① 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」をクリックします。
- ② 「サウンドとマルチメディア」をダブルクリックします。  
▼ 「サウンドとマルチメディアのプロパティ」が表示されます。
- ③ 「オーディオ」タブを開き、以下の設定をします。
  - ・「音の再生」の「優先するデバイス」で、「USBオーディオデバイス」以外のサウンドデバイスを選びます。
  - ・「録音」の「優先するデバイス」で、「USBオーディオデバイス」以外のサウンドデバイスを選びます。

※画像は例です。実際の名称はコンピュータによって異なります。
- ④ [OK] をクリックし、表示されている画面をすべて閉じます。



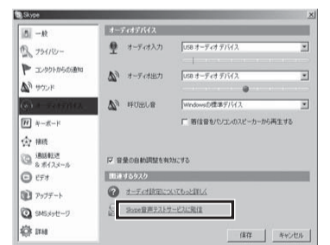
#### ●Skypeのオーディオ設定

- ① Skypeを起動し、ログインします。
- ② 「ツール」メニューから「設定」をクリックします。
- ③ 左側のメニューから「オーディオデバイス」をクリックし、以下の設定をします。
  - ・「オーディオ入力」で、「USBオーディオデバイス」を選びます。
  - ・「オーディオ出力」で、「USBオーディオデバイス」を選びます。
  - ・「呼び出し音」で、「Windows標準デバイス」を選びます。



#### ワンポイント

「Skype音声テストサービスに発信」をクリックすると、音声テストができます。



- ④ [保存] をクリックします。  
以上で本製品の設定は終わりです。STEP 4へ進んでください。

### Macintoshのとき

#### ●OSのサウンド設定

- ① 「アップルメニュー」-「システム環境設定」をクリックします。
- ② 「ハードウェア」の「サウンド」をクリックします。
- ③ 「出力」タブ-「サウンドを出力する装置の選択」で、「C-Media USB Audio Device」以外のサウンドデバイスを選びます。



「入力」タブ→「サウンドを入力する装置の選択」で、「C-Media USB Audio Device」以外のサウンドデバイスを選びます。



④ 画面を閉じます。

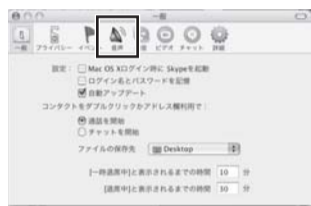
### ●Skypeのオーディオ設定

① Skypeを起動し、ログインします。

② メニューバーの「Skype」から「設定」をクリックします。



③ 「音声」をクリックします。



④ 「出力デバイス」と「入力デバイス」で、「C-Media USB Audio Device」を選びます。



⑤ 画面を閉じます。

以上で本製品の設定は終わりです。本製品をSkypeの受話器としてお使いください。

STEP

4

## 通話する

以下は付属のソフトウェアをインストールしたときの操作手順です。Skypeを使って同様の操作を行うことができます。

※Macintoshのときは、本製品のボタンは使用しないため、以下の手順は不要です。Skype画面を直接操作し、本製品を受話器としてご利用ください。

### 準備

① Skypeのアイコンが、システムトレイに緑色で表示されていることを確認します。

- ・アイコンが表示されていないときは、「スタート」→「すべてのプログラム」(または「プログラム」)→「Skype」→「Skype」をクリックして、Skypeを起動します。
- ・アイコンが緑色ではなく灰色のときは、Skypeを起動してログインします。



② 付属ソフトウェアのアイコンが、システムトレイに緑色で表示されていることを確認します。

- ・アイコンが表示されていないときは、「スタート」→「すべてのプログラム」(または「プログラム」)→「Planex」→「UB-SKP」→「Planex Middleware」をクリックします。
- ・アイコンが緑色ではなく灰色のときは、本製品をコンピュータから一度取り外して、再度取り付けます。



※Windows XPでは、システムトレイのアイコン表示が一部隠されてしまっていることがあります。タスクバーの空いているところを右クリックして「プロパティ」を選び、「アクティブでないインジケータを隠す」を無効に設定すると、すべてのアイコンが表示されて確認しやすくなります。

### Skypeの画面を表示する

① 本製品のONキーを押します。

▼  
Skypeの画面が表示されます。

※ONキーを押すたびに、Skypeの画面の「コンタクト」タブ→「電話へ発信」タブ→「ライブ」タブ→「発信者履歴」タブの順に切り替わります。

### コンタクトリストから通話する

- ① 本製品のONキーを数回押して、「コンタクトリスト」を表示します。
- ② 本製品の▲/▼キーを押して、「コンタクトリスト」から通話先を選びます。
- ③ 本製品の○キーを押します。
- ④ 通話先につながり、通話できる状態になります。
- ⑤ 通話を終了するときは、×キーを押します。

### 電話番号を直接入力して電話をかける

- ① 本製品のONキーを数回押して、「電話へ発信」を表示します。
- ② 「相手の国を選択」から国を選び、本製品のテンキーを使って、通話先番号を入力します。
- ③ 本製品の○キーを押します。
- ④ 通話先につながり、通話できる状態になります。
- ⑤ 通話を終了するときは、本製品の×キーを押します。

※Skypeから一般電話などSkype以外への通話発信は、有償サービスになっています。詳細はSkypeのWebサイトを参照ください。(2007年2月現在)

### 発着信履歴から電話をかける

- ① 本製品のONキーを数回押して、「発着信履歴」を表示します。
- ② 本製品の▲/▼キーを押して、通話先を選びます。
- ③ 本製品の○キーを押します。
- ④ 通話先につながり、通話できる状態になります。
- ⑤ 通話を終了するときは、本製品の×キーを押します。

## その他

### 受話音量を調整する

#### Windowsのとき

- ① 本製品のVOLUMEキーで音量を調整します。

#### Macintoshのとき

- ① 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。
- ② 「ハードウェア」の「サウンド」をクリックします。
- ③ 「出力」タブ→「サウンドを出力する装置の選択」で、「C-Media USB Audio Device」を選び、音量調整します。
- ④ 画面を閉じます。

### 相手の声が聞こえないとき

#### Windows XP/2000のとき

- ① ③の手順で「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」(Windows2000のときは「サウンドとマルチメディアのプロパティ」)を開きます。
- ② 各タブを開いて、音量調整や、ミュートが有効になっていないか確認します。

#### Macintoshのとき

- ① 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。
- ② 「ハードウェア」の「サウンド」をクリックします。
- ③ 「出力」タブ→「サウンドを出力する装置の選択」で、「C-Media USB Audio Device」を選び、音量調整や、ミュートが有効になっていないか確認します。
- ④ 画面を閉じます。

## 相手に声が伝わらないとき

### Windows XP/2000のとき

- ① 本製品のMute機能がオンになっていないか、本製品のMUTEキーを一度押してみても、声が伝わるようになるか確認します。
- ② それでも解決しないときは、③の手順で「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」(Windows2000のときは「サウンドとマルチメディアのプロパティ」)を開きます。
- ③ 各タブを開いて、音量調整や、ミュートが有効になっていないか確認します。

### Macintoshのとき

- ① 「アップルメニュー」-「システム環境設定」をクリックします。
- ② 「ハードウェア」の「サウンド」をクリックします。
- ③ 「入力」タブ-「サウンドを入力する設置の選択」で、「C-Media USB Audio Device」を選び、音量調整や、ミュートが有効になっていないか確認します。
- ④ 画面を閉じます。

## 音声頻りに途切れるとき

一度本製品を取り外して、別のマイクとスピーカーを使ってSkypeの動作をご確認ください。Skypeの動作は、お使いのコンピュータのスペックや、回線品質(FTTH/ADSL/CATVなどのブロードバンド回線)に影響を受けることがあります。

## 本製品の活用例

Skype以外のメッセージングソフトで通話するときに、本製品を受話器として使用することもできます。その場合は、別途、メッセージングソフトまたはOSの設定で、本製品から音声の入出力ができるようにする必要があります。

※Windowsのときに使用できる本製品のキーは、MUTEキーだけになります。

## 本製品の取り外し方法

コンピュータの起動中に取り外すときに、特別な操作は不要です。そのままUSBケーブルをコンピュータから取り外します。

## 付属ソフトウェアの起動について(Windows XP/Windows 2000のみ)

付属ソフトウェアは、コンピュータの起動と同時に起動し、いつでも使えるようにシステムに常駐しています。通常は特に起動操作を意識する必要はありません。

- ① 付属ソフトウェアを手動で起動させるときは「スタート」-「すべてのプログラム」(または「プログラム」)-「Planex」-「UB-SKP」-「Planex Middleware」をクリックします。



## 付属ソフトウェアの終了(停止)について(Windows XP/Windows 2000のみ)

付属ソフトウェアは、コンピュータの起動と同時に起動し、いつでも使えるようにシステムに常駐しています。

通常は特に停止させる必要はありませんので、そのままお使いください。

常駐させておくと、例えば一度本製品を取り外したときでも、次に取り付けたときにすぐに本製品を使用できて便利です。

- ② 付属ソフトウェアを停止させるときは、システムトレイのアイコンを右クリックし、「終了する」をクリックします。

## 付属ソフトウェアのアンインストール方法 (Windows XP/Windows 2000のみ)

付属ソフトウェアのアンインストール方法を説明します。

- ① システムトレイのアイコンを右クリックし、「終了する」をクリックします。
- ② 「スタート」-「すべてのプログラム」(または「プログラム」)-「Planex」-「UB-SKP」-「Uninstall Planex Middleware」をクリックします。
- ③ 「削除」を選び、「次へ」をクリックします。
- ④ 「はい」をクリックします。  
▼  
アンインストールが開始されます。
- ⑤ 「完了」をクリックします。

アンインストールの完了です。

※ドライバについてはOS標準のものを使っているため、本製品を取り外すだけです。別途アンインストール操作は不要です。

## 仕様

型番	UB-SKP
機能	
対応規格	USB 1.1
伝送速度	USB 1.1:12Mbps
ハードウェア仕様	
インターフェース	USB 1.1 (タイプMini-Bコネクタ)×1 イヤホン(3.5mmモノラルミニジャック)×1 マイク(3.5mmモノラルミニジャック)×1
音声部	スピーカー×1、マイク×1
キーボード	方向キー、音量、テンキーなど
電源	USBバスインターフェースからの供給:DC5.0V
外形寸法	43(W)×108(H)×16(D)mm
重量	約36g(本体のみ)
その他	
対応機種	USB 1.1/2.0を標準装備したPC/AT互換機およびMacintosh
対応OS	Windows XP/2000 (日本語版) Mac OS X 10.4.3以降 (日本語版)
保証期間	1年間
Skype用ソフトウェア	
対応OS	Windows XP/2000 日本語版
システム要件	CPU:PentiumII 400MHz以上、メモリ:128MB以上

### ■注意事項

- ※本製品のキーボードを使用するには、付属Skype用ソフトウェアのインストールが必要です。
- ※表示の数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- ※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※最新情報は、弊社ホームページ(<http://www.planex.co.jp>)を参照ください。

## 技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

- ! Skypeに関しては、Skypeのヘルプ、サポートへお問合せください。本製品に関しては、弊社へお問合せください。



### 〈お問い合わせフォーム〉

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

[受付:24時間]



### 〈電話〉

フリーダイヤル: 0120-415-977

[受付:月~金曜日、10~12時、13~17時]

\* 祝祭日および弊社指定の休業日を除く



### 〈FAX〉

ファクス番号: 03-5766-1615

[受付:24時間]

### 問い合わせ前のお願ひ

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。お客様のご協力をお願いいたします。

- 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ご使用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名(Windows XP/Meなど)
- ご使用のネットワークの環境(回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ご質問内容(現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

## 必ずお読みください

### ご注意

- ・本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・本製品内部のソフトウェア(ファームウェア)更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関する保証は一切ありません。
- ・輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- ・本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

### 著作権等

- ・本ユーザーズ・マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ・本ユーザーズ・マニュアルの作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本ユーザーズ・マニュアルの記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- ・本ユーザーズ・マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・本ユーザーズ・マニュアルおよび記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

## プラネックスコミュニケーションズ株式会社

- プラネックスコミュニケーションズ、PLANEX COMMUNICATIONSは、プラネックスコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintoshは、Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- ご注意: ご使用の際は必ず商品に添付された取扱説明書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。